



All Seigakuin Fellowship

No.54
Jun.2016

ASF NEWS

特集 聖学院大学

地域と大学の活性化を目指し、
地域共生広場「1Cafe」誕生



耐震工事をほぼ終えリニューアルした聖学院大学一号館（6月）

希望の時代を拓く聖学院教育の基礎づくり

— 1万人による1万円寄付を導火線として —

インターネットでの寄付のお申し込みについて

クレジットカード（VISA, MasterCard）をお持ちの方は、お申し込みから入金までご自宅等で、パソコンおよびスマートフォン、携帯電話からインターネットによるお手続きができます。詳しくは右記URL、QRコードからご参照ください。

●オール聖学院フェローシップ（ASF）寄付申し込み詳細ページ

<http://www.seig.ac.jp/asf/donation.html>

（本誌 p.13 もご参照ください）



住所変更・お問い合わせは各校へお願いします

- ◎聖学院大学総務課
（大学院・女子聖学院短大）・・・ (048) 781-0925
- ◎聖学院大学附属みどり幼稚園・・・ (048) 622-3864
- ◎聖学院中学校高等学校・・・ (03) 3917-1121
- ◎女子聖学院中学校高等学校・・・ (03) 3917-2277
- ◎聖学院小学校・幼稚園・・・ (03) 3917-1555
- ◎学校法人聖学院ASF事務局・・・ (03) 3917-8352

Love God and Serve His People

聖学院

〒114-8574
東京都北区中里3-12-2

聖学院各校の教育充実のために ご協力をお願いします。

目 次

[巻頭言] Be a Messenger	1
～語ることばをもつ人を育てます～	
女子聖学院中学校高等学校 校長 山口 博	
 ●特集 聖学院大学	
地域と大学の活性化を目指し、地域共生広場「1Cafe」誕生	2
 連続コラム.....	4
私が出会った聖書のことば（第二十一回・中村 謙一 聖学院小学校・幼稚園チャプレン）	
 各校ニュース.....	5
2017 年度入試案内	8
ホームカミング情報.....	10
オール聖学院フェロシップ規則.....	11
ASF 募金要項.....	12
2015 年度プロジェクト別内訳／インターネットでの寄付のお申し込みについて	13
税制上の優遇措置について.....	14
ASF 募金「振込用紙」の書き方について.....	15

Be a Messenger

～語ることはもつ人を育てます～

女子聖学院中学校高等学校 校長 山口 博

オール聖学院在学生保護者、教職員、卒業生、ASF会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、学院の発展のためにご支援とご理解を賜り、こころより感謝申し上げます。

さて、わたくしこと山口博は、女子聖学院中学校高等学校第九代校長 田部井道子先生の任期満了に伴い、4月1日付けをもちまして校長職を拝命いたしました。2007年4月に小生の母校である聖学院中学校高等学校の校長職招聘を受け、1期5年の任期を終えることが出来ました。それ以後も皆様方のお支えにより、副院長としてキリスト教センター所長、聖学院大学のチャプレン、教授、大学附属みどり幼稚園園長代行を兼務してまいりました。もとより浅学菲才の身ですが、これまでの経験を生かしながら、奮励努力していく所存です。何卒、皆様方の祈りに加えて頂ければ幸いに存じます。

冒頭のBe a Messenger～語ることはもつ人を育てます～は、女子聖学院の教育内容を表すことばとして広報誌等に掲げられています。今から111年前の11月1日に若き宣教師バーサ・F・クロソン先生は、ひとりのMessengerとして生徒たちに寄り添いました。そのとき以来、生徒たちがひとりのMessengerとして立てられていく姿は今も連綿と受け継がれています。

今年度は生徒たちの更なる成長を願いながら、以下のように女子聖学院のMISSION5を策定しました。MISSION1、授業改革と学習支援システム充実。

MISSION2、ことばの獲得への注力。
MISSION3、国際理解教育の充実。
MISSION4、課題探求型学習の導入。
MISSION5、自分のよさと出会う学校。以上が女子聖学院の教職員に与えられた使命です。



MISSIONの延長線上には何があるのでしょうか。申すまでもなくVISIONです。聖書の箴言29章18節（欽定訳）にはWhere there is no vision, the people perishと書かれています。Visionの語源は、ラテン語の動詞videre（見る）になります。われわれは何を見たらよいのでしょうか。実は、われわれが前を見る前に、主なる神様が既に前を見ておられます。「前を見る」（pro+videre）は英語のprovidence（摂理）になります。誰でも聖書の「ことば」に導かれる時、明るく希望に満ちた前を見ることが出来ます。Be a Messengerの誕生です。



特集

聖学院大学

地域と大学の活性化を目指し、 地域共生広場「1Cafe」誕生

—1号館全館リニューアルオープンに先駆けて、2016年3月より1Cafe始動—

文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」の一環として、1号館地下の学生ホールに地域社会と大学双方の理解・交流促進の活動拠点となる地域共生広場「1Cafe」が誕生しました。ここは言わば大学の中の‘地域に開かれた交流スペース’。地元住民の方々が気軽に訪れられる「地域交流ラウンジ」や通信環境が整備された「メディアラウンジ」、専属スタッフが常駐する受付窓口「サポートデスク」等が設けられています。また、地域活動の報告や常設展示が行えるステージを備えており、アクティブラーニングスペースとしてゼミや授業での活用や地域の勉強会、様々な打ち合わせやイベント開催も可能な環境が整備されました。



6月8日に開催された国際交流会では、聖学院大学で学んでいる留学生たちが出身国の紹介をステージで行い、日本人学生と交流を深めました。



1号館リニューアルオープニング・セレモニー（礼拝）の様子。1967年女子聖学院短期大学開学以来、50年間活躍してくれた1号館の耐震工事がほぼ終了しました。
（※p.5各校ニュースもご参照下さい）



プレゼンテーションやグループワークに最適な「地域交流ステージ」。



「サポートデスク」ではボランティアコーディネーターやスタッフに相談ができます。



地域の方々も気軽に相談などに訪れられる「地域交流ラウンジ」は、様々な打ち合わせにも対応可能。

オープンキャンパスで、リニューアルした1号館と 地域共生広場「1Cafe」を見学いただけます

下記の日程で
オープンキャンパスを開催します。
この機会に、ぜひ大学へ
お越しください。

聖学院大学オープンキャンパス

6月25日(土) 13:00～16:00

7月23日(土) 10:00～15:00

8月 6日(土) 10:00～15:00

8月22日(月) 10:00～15:00

9月24日(土) 13:00～16:00



※ 卒業生及びその子女の方で入試をご検討の際はアドミッションセンター（TEL.048-725-6191）までお問い合わせください。
※ 大学院進学相談会（政治政策学研究科／アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科／人間福祉学研究科）も同日開催。

私が出会った聖書のことば（第二十一回）

誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈って
いなさい。心は燃えても、肉体は弱い。
（マルコによる福音書14章38節）



聖学院小学校・幼稚園チャプレン
中村 謙一

アメリカに留学中、わたしはすべての事において真剣になりすぎる傾向がありました。大学院での大変な勉強に不安を抱いていました。そんな時、友人のスティーブに言われました。「ケン、少し真剣すぎるのでは？ 弱さを示し、助けを求めることは恥ではない。」そして彼はこの御言葉を私に与えてくれました。それはイエス様がゲッセマネの祈りを捧げている時の御言葉でした。そしてスティーブは言いました。「イエス様も弱い時があった。弟子たちに共にいて目を覚まし、祈っていて欲しかったのだ。」わたしはその時以来、この御言葉に励まされてきました。イエス様は、わたしの弱さを知っていて祈ってくださる！重荷が肩から降ろされ癒しが与えられました。

※聖学院諸学校で牧師として活躍しておられる先生や、卒業生に原稿をお願いしています。

各校ニュース

聖学院の固有の教育使命達成のために

いつも本学院教育へのご理解・ご支援を賜り心から御礼申し上げます。さて昨年度に、国の教育改革が本格的に始動いたしました。これから5年後10年後を見据えて、アクティブ・ラーニングの導入や大学入試のやり方の抜本的改革など学校教育が変わると言われております。聖学院もその変化の波に対処していかなければなりません、今までの歩みを顧みるに、本学院は常に先進的に取り組んでまいりました。西暦2000年から全教職員が参加して「聖学院教育会議」を開き、3年間をかけて「聖学院教育憲章」を制定し、それに基づいて学院各校が教育の刷新と充実を図り、その間に各校の校舎建築・改築を行い、教育環境の充実を図ってまいりました。これらの大事業はASFのご支援があって実現したものと、関係者ご一同に心から感謝申し上げます。明治以来の教育大改革の時代と言われる中であって、幼稚園から大学・大学院まで一貫教育体制を擁する、全国でも数少ない学校

法人である聖学院の果たすべき役割は独自の教育の理念と実践を行うことであり、聖学院教育の真価が問われる時が来しました。これまでASF募金は主に各校の教育施設・設備充実と奨学金のためのプロジェクトとしてきましたが、今年度より各校の「**教育および施設設備充実**」といたしました。これはいよいよ次の段階に入る自覚を前提にしています。オール聖学院フェロシップが文字どおりに園児・児童・生徒・学生のことを第一に考え、それを支える保護者、後援会、同窓会そして教職員が一つになり、聖学院教育を支援する輪を広げていくことが重要な時です。今年は再びオール聖学院の結束を確認し強めていく一年になります。このような大きな変化の時にあたり、聖学院に連なる皆様のさらなる力強いご支援をお願いする次第です。

(学校法人聖学院理事長・院長 阿久戸 光晴)



聖学院大学

400名の新入生を迎えて、あらたな年度が始まりました。留学生も約100名を迎え、一層キャンパスのグローバル化が進んでいます。教育改革も喫緊の課題です。積み重ねてきた伝統の上に、さらに時代にあった教育のあり方を追求していきたいと、決意を新たにしています。

今キャンパスでは一号館の耐震工事をほぼ終え、全館使用開始の日が近づいていますが、まだ建物周辺の整備が残っています。また、体育館の耐震工事も秋学期の竣工に向けて始まりました。大学の今年度の課題としては、この耐震に伴うキャンパス整備の継続がまずあります。

また、入学者の安定的な確保を図るため、入学後の各自の努力を評価し、それにむけての努力を奨励する形のあらたな奨学金システムを構築することを、もう一つの今年度の主な目標としたいと考えています。引き続き皆様のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

(学長 清水 正之)



女子聖学院中学校高等学校

今年度より、第10代校長に就任しました。前校長の改革を受け継ぎ、自ら学び発信できる力を備えた生徒を育てていく所存であります。

昨年度9月から一部学年で利用されていたラーニングセンターは、設備を整え4月から全校生徒が利用できるようになりました。「自学自習習慣の確立」「家庭学習の学校内完結」を謳ったこのシステムで生徒の学力アップを実現していきます。昨年は校内ネットワークを整備し、タブレット40台を購入しました。今年は、各教室にプロジェクターを配置しICT機器を使った授業の充実を計ります。また、授業の中にアクティブラーニングを積極的に取り入れ、現代のみならず未来を見据えつつ必要とされる教育を教職員一同一丸となって進めてまいります。

※p1巻頭言もご参照ください。

(校長 山口 博)

(次頁へつづく)



聖学院中学校高等学校

今年も糸魚川で農村体験学習を実施した。31回目である。「聖学院の森」に行ってみたが思いのほか育っているミズナラがありうれしくなった。しかし折角植えても姿かたちがなくなっているものもたくさんある。5メートルの雪に押しつぶされ流され枯れてしまった。放流された鮭の故郷の川への回帰率は2%から4%らしい。豪雪地の植林の生存率もそれに近いものと聞いた。熾烈な生存のための苦闘があるのだ。下草に交じって地を這うように小さなミズナラの葉が見える。何年前に植えたものだろう、今年春芽を出して息を吹き返した。長い旅に出ていた子どもに再会したように胸に熱いものがこみ上げてきた。

もう20年以上前、糸魚川を通っている大糸線の姫川という無人駅で早朝一人の聖学院卒業生を見送ったことが甦ってきた。彼は東北の大学を卒業し、アフリカのケニアに水産関係で海外青年協力隊として赴任する日であった。薄く霧が立つ線路を軽く手を振る爽やかな若者を乗せて気動車は去っていった。見送る自分が植林した後や、田植えの後と同じ気持ちであることに気が付いた。いずれも活着してほしいという気持ちだ。2年後彼は意気揚々というより少ししぼんで帰ってきた。しかし一回りは大きくなった。

聖学院中高は命と直結する教育の営みをしている。特に誇るものはないけれど、生命の主、知の基の神を崇め、人々を愛している。これからもその歩みを続けていこう。

(校長 戸邊 治朗)



「聖学院の森」でミズナラの植林体験



聖学院小学校

定員を上回る新一年生を迎え、新しい校舎での二年目の歩みがスタートしました。多くの入学希望者が与えられたことに感謝するとともに、ここで過ごす子どもたちが豊かな日々を送れるよう、一つひとつのことに知恵を絞り、力を尽くしてまいりたいと思います。

5月21日には運動会が開催されました。みんながこの日を大切に、楽しみながら、毎日心のこもった準備を重ねてきました。当日は天候にも恵まれ、全児童が出席し、それぞれの成果を十分に発揮したすばらしい運動会となりました。最後の得点発表のとき、点数の多かった組は、どの子もみな飛び上がらんばかりに喜び、少なかった組の子どもたちは悔しそうな気持ちを顔いっぱいになじませ、みんなで残念がりました。どちらも、心をこめてきちんと準備してきたからこそ、感じられたかけがえのない思いであり、その思いが子どもたち一人ひとりを、またひとつ大きくさせてくれることと確信しています。保護者の方々をはじめ、ご来場いただいた皆様には、子どもたちの姿を温かく見守っていただき、深く感謝を申し上げます。

今後とも変わらぬお力添えを賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(校長 村山 順吉)



全校児童が心をひとつに臨んだ大玉ころがし



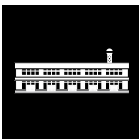
聖学院幼稚園

皆様のご理解とご協力によって新しい園舎が与えられ、3年半が経過しました。園舎は竣工時とかわりない状態を保っています。なぜなら、子どもたちが快適に過ごせるように、そして新しい園舎があたえられた感謝の気持ちを忘れることがないよう、保育後には隅々まで掃除しているからです。そんな園舎で、子どもたちは毎日元気に過ごしています。また保護者の方々も安心してお子様を託してくださっています。

3年前の創立100周年を機に、私たちは今までの幼稚園のよき伝統を継承すると共に、社会情勢等の変化を踏まえ改革すべきことは勇気を持って改革するとの決意を持って新たなスタートを切りました。給食の導入、預かり保育の開始は改革の一端です。預かり保育については昨年度までは水曜日を除く週4日行っていましたが、今年度から毎日行うようにしました。朝8時からの預かりは引き続き毎日行っています。また、今年度より保育中の体育遊びは幼児体育を専門とする講師を外部から招いて行っています。

これからも変えてよいものと変えてはいけないものを見極めながら、保育の充実をはかって参ります。引き続きご協力を賜りますよう、お願いいたします。

(園長 佐藤 慎)



聖学院大学附属みどり幼稚園

本園は聖学院の中でもっとも小さい家族です。しかしその38年間の歩みの中で、1,600名を超える卒園生を送り出しました。最近では卒園生の子女が入園してくる場合も増えています。本園はこれまで地域に根ざした遊びを中心とするキリスト教保育を一貫して行ってきましたが、子ども達にとって質の高い「遊び」は人間としての人格形成に必要な学びの場となっています。

今年に入園者数が昨年比10名以上増えました。本園の保育の特色を如何に理解していただけるか苦労しながらも徐々に浸透しつつあることを実感しています。また教育の新しい試みとして満3歳児保育や長期休暇中の預かり保育の拡大などを行いました。時代の要請にも柔軟に対応できる園へと変わっていかねばならないと考えています。

40周年に向けては多目的保育室（旧プータロ）の再建などを掲げています。その歩みは遅々たるものですが確実に前進させねばなりません。引き続き本園を物心両面よりお支えいただければ幸いです。

(園長 山川 秀人)



聖学院アトランタ国際学校

聖学院アトランタ国際学校には、25周年記念エコフレンドリー運動場が完成しました。リサイクル素材を利用した運動場を使用する前、環境教育の一環であることを児童に理解してもらい、多くの方のご厚意によりできたことを感謝し、大切に安全に使うようにみんなで約束し、神様に祈りを捧げました。このエコフレンドリー運動場のおかげで、リクルートも順調で、ほぼ毎週入学を希望するご家庭が訪問してくださっています。5月6日は「こどもの日」にちなんで日本国総領事館のご厚意によりセインツの子ども達がプロ野球の試合前、フィールドを鯉のぼりを掲げてパレードしました。「平和を作り出す国際人の育成」のため、これからもしっかりと歩み続けられるよう、どうぞご支援をお願い申し上げます。

(校長 エイハーン みな子)



お正月の風揚げ、野球、サッカー、ドッジボールと大活躍のエコフレンドリー運動場

2017年度 入試案内

詳細は各学校にお問合せください。(E-MAIL の場合: pr@seig.ac.jp まで)
同封の ASF 葉書から、入試情報の資料請求ができます。

聖学院大学附属みどり幼稚園

行事	親子で遊ぶ会	7/13(水)申込制
	入園に関する説明会	9/24(土)
入試 関連	募集人員	満3歳児6名程度、 3歳児30名、4歳児10名、5歳児若干名
	願書配布	10/17(月)～
	願書受付・面接	11/1(火)

※見学はいつでも受け付けています。

☎ 048-622-3864 <http://www.seig.ac.jp/midori/>

聖学院幼稚園

行事	体験入園	7/20(水)・21(木)【要予約】
	入園説明会	9/10(土)
	聖学院フェア	9/22(木・祝)
	運動会	10/8(土)
	公開保育	10/13(木)
入試 関連	募集人員	2年保育約10名、3年保育約40名
	願書配布	10/13(木)～10/28(金)
	願書受付	10/29(土)
	入園面接	10/31(月)

☎ 03-3917-2725 <http://www.seig.ac.jp/kinda/>

聖学院小学校

行事	体験授業	7/16(土)要申込
	学校説明会	9/8(木)
	聖学院フェア	9/22(木・祝)
入試 関連	募集人員	72名(内部進学者を含む)
	願書配布	6/2(木)～配布中
	願書受付	10/1(土)～10/7(金)
	入試面接	10/15(土)
	入試日・合格発表	11/5(土)

☎ 03-3917-1555 <http://www.seig.ac.jp/prim/>

女子聖学院中学校

行事	JSGプレシヤ説明会	7/13(水)・1/14(土)【要予約】
	女子聖学院体験日	7/18(月・祝)【講座別予約制】
	学校説明会	9/3(土)・10/22(土)・11/19(土)・1/14(土)
	ナイト説明会	9/16(金)・11/10(木)【要予約】
	女子聖 Jr. Workshop	9/17(土)・10/15(土)・11/26(土)【要予約】
	早期入試問題対策会	10/12(水)・10/13(木)・10/19(水)【要予約】
	入試体験会	12/3(土)【要予約】
入試	直前説明会	1/21(土)【要予約】
	募集人員	帰国生:若干名 英語・日本語(2/2):各10名 日本語(2/4):5名 ①70名 ②30名 ③30名 ④10名 ⑤5名
	入試日	帰国生:12/4(日) 英語・日本語:2/2(木)AM 日本語:2/4(土)AM ①2/1(水)AM ②2/1(水)PM ③2/2(木)PM ④2/3(金)PM ⑤2/5(日)AM

英語＝英語表現力入試、日本語＝日本語表現力入試

☎ 03-3917-2277 <http://joshiseigakuin.ed.jp/>

聖学院中学校高等学校

行事	学校説明会	受験生 及び保護者	プレミアム説明会:7/1(金)・12/6(火) 帰国生説明会:7/20(水)・10/22(土) イブニング説明会:9/2(金) 学校説明会:9/17(土)・10/22(土)・11/26(土)・ 12/23(金・祝)・1/14(土)【要予約】
入試	帰国生 入試	募集人員	(中学)A方式:5名 B方式:15名 (高校)推薦:15名 一般入試:15名
		入試日	(中学)A・B方式12/8(木) (高校)推薦 12/8(木) 一般入試:A・B方式:1/18(水)
	中学	募集人員	英語選抜:特に定めず 一般:70名 思考力:30名 特待・アドバンスト:①35名 ②20名 ③10名 ④5名
入試	中学	入試日	一般:2/1(水)AM 英語選抜:2/2(木)AM 思考力:2/2(木)AM 特待・アドバンスト:①2/1(水)PM ②2/2(木)PM ③2/3(金)PM ④2/4(土)AM

☎ 03-3917-1121 <http://www.seig-boys.org/>

聖学院大学

募集 人員	[政治経済学部] 政治経済 160名 [人文学部] 欧米文化 80名/日本文化 80名 [人間福祉学部] 児童 100名/こども心理 80名/ 人間福祉 80名	
入試	AO入試【レポート型】	【エントリー】～2/22(水) ※1※2
	AO入試 【講義型】・【英語特別】	[Ⅰ期]8/27(土) [Ⅱ期]10/1(土) [Ⅲ期]11/12(土) [Ⅳ期]12/17(土) [Ⅴ期]1/21(土) [Ⅵ期]講義型2/28(火)・英語特別3/14(火)
	スポーツ推薦入試	[Ⅰ期]9/17(土) [Ⅱ期]12/17(土) [Ⅲ期]1/14(土)
	公募推薦入試	[Ⅰ期]11/12(土) [Ⅱ期]12/17(土)
	一般入試	①1/24(火) ②2/9(木) ③2/28(火) ④3/14(火) ⑤3/23(木) ⑥3/25(土)

※1 児童学科では、AO入試【レポート型】、【英語特別】、スポーツ推薦入試の募集は行いません。

※2 各学科の定員に達した時は、エントリーができないこともあります。

☎ 048-725-6191 (アドミッションセンター) <http://www.seigakuin.jp/>

聖学院大学大学院

募集 人員	[政治政策学研究所] (修士課程)10名 [アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所] (博士前期)5名(博士後期)5名 [人間福祉学研究所] (修士課程)10名	
入試	出願期間	[秋期]10/31(月)～11/12(土) [春期]1/30(月)～2/11(土・祝)
	入試日	[秋期]11/19(土) [春期]2/18(土)
	合格発表	[秋期]11/22(火) [春期]2/21(火)

※大学院は、夏期入試も実施しています(今年は7/2(土)実施)

☎ 048-780-1707 <http://www.seigakuin.jp/grad/>

聖学院中高で7月30日、第5回「レゴキング選手権」開催

聖学院中高では「何が課題なのか」自ら問いを立て、探求し、表現する力を伸ばす『21世紀教育』の一環として、2012年から小学生を対象とした「レゴキング選手権」を実施しています。レゴは、仮説を立て「自ら手を動かして考える教育」に相応しい教材とされ、思考を形にする過程を通じて、楽しみながら創造力や問題解決力などを育てることができます。昨年度からは、中学入試で、与えられたテーマに沿ってレゴを用いて作品を作り、発想力・表現力を評価する「思考力ものづくり入試」も導入しています。

●第5回「レゴキング選手権」

【日時】2016年7月30日(土) 9:00～12:00

(入場無料・要事前予約)

【内容】レゴを使ってテーマ(6月30日発表)に沿った作品を作り、審査によって優秀作品を表彰します。選手権参加資格は小学5・6年生男子児童。

詳細は聖学院中高HPをご参照ください。



ホームカミング情報(2016年度)

今年度開催のホームカミング情報です。ぜひ、ご参加ください。

(2016.6.15 現在)

学校名・行事名		日時	対象	概要
聖学院大学附属 みどり幼稚園	つくしの会	5月28日(土) ※終了	小～中学生 卒園者と保護者	小中学生、旧職員をお迎えして懐かしい保育室でゲームを楽しみました。最後はみんながプレイルームに集って礼拝をし、学年ごとに記念撮影をしました。
	同窓会	7月18日(祝・月)	高校生以上の 卒園者と保護者	ご家族を連れてのご参加も歓迎いたします。軽食をいただきながらのアットホームな会を予定しています。
聖学院幼稚園	ホームカミング	2017年 3月20日(祝・月)	2001年度 (2002年3月卒)	2017年1月に成人式を迎えられる卒園生とその保護者の皆様をお招きし、成人をお祝いいたします。旧職員の先生方もお招きしますので、共に楽しい時を過ごしましょう。
聖学院小学校	同窓会 「ぶどうの木」 総会	6月11日(土) ※終了	卒業生、後援会員、 現旧教職員	会場：聖学院小学校 本校の同窓会総会は後援会(卒業生保護者の会)の総会も兼ねているので、卒業生とその保護者の方にご参加くださいました。昨年と同じく総会後は、新校舎のホールで歓談のときを過ごしました。
女子聖学院中高	ホームカミング	6月4日(土) ※終了	高58回生	礼拝、記念撮影、茶話会などを予定しています。
		9月17日(土)	高38回生	
		10月15日(土)	高48回生	
聖学院中高	ホームカミング	11月2日(水)、 11月3日(祝・木)	卒業生	11月2日(水)、3日(祝・木)の記念祭2日間で、ホームカミングルームを用意しています。今年度、59回生、84回生、108回生の卒業生の方には、先着でオリジナルグッズを差し上げます。 また、3日(祝・木)の午後3時から30分程度、本館5階ガイホールにて、卒業生向けのホームカミング礼拝を行います。 お誘い合わせの上、ぜひお越しください。
聖学院大学	同窓会総会	11月3日(祝・木)	卒業生	ヴェリタス祭当日に総会を開催し、豚汁の提供のほか、同窓会ルームを開設しアルバムなどを展示予定です。 詳細は同窓会HP等でご案内します。
女子聖学院短期大学	緑朋会総会	詳細は学校法人HP等でご案内します。		

オール聖学院フェロースhip規則

名称

第1条 オール聖学院の後援組織である本会は、オール聖学院フェロースhip（以下略称「ASF」という。）と称し、事務所を学校法人聖学院（以下「法人」という。）法人事務局に置く。

目的

第2条 ASFは、法人諸学校の設立理念の達成を目指し、オール聖学院一致の精神を高揚するとともに、その財政的基盤を確立するため法人諸学校関係諸団体の構成員及び法人諸学校の設立理念に賛同する篤志家による寄付行為を推進することを目的とする。

組織

第3条 本会は法人理事長が推薦する推進委員をもって組織する。
2 本会に推進委員長1名、副委員長若干名を置く。委員長、副委員長は法人理事長が委嘱する。
3 推進委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

活動

第4条 本会は第2条の目的を達成するため、次の活動を行う。
(1) 法人への寄付行為の推進を図り、ASF法人会員、個人会員の加入促進を図る。
(2) 法人の現状について法人諸学校関係諸団体及びASF法人会員、個人会員の理解を深めることに努める。
(3) その他必要な活動を行う。

ASF寄付金

第5条 ASFの呼び掛けによる寄付金は法人に直接納入され、その帰属は法人とする。

推進委員会の開催

第6条 毎年1回6月に推進委員会を開催し、ASFの推進状況報告、推進計画等を協議する。

本会の費用

第7条 本会活動に要する費用は法人が負担する。

規則の改廃

第8条 本規則の改廃は、推進委員会の了承を受け、法人理事会が決定する。

付則

1. 本規則は1988年7月30日から施行する。
2. 法人諸学校関係諸団体は、2012年4月1日現在、以下のとおりである。
 - (1) 聖学院大学後援会
 - (2) 聖学院大学同窓会
 - (3) 女子聖学院短期大学緑朋会
 - (4) 聖学院中学校高等学校PTA
 - (5) 聖学院中学校高等学校後援会
 - (6) 聖学院中学校高等学校同窓会
 - (7) 女子聖学院中学校高等学校PTA
 - (8) 女子聖学院中学校高等学校後援会
 - (9) 女子聖学院翠耀会
 - (10) 聖学院小学校PTA
 - (11) 聖学院小学校同窓会
 - (12) 聖学院小学校後援会
 - (13) 聖学院幼稚園父母の会
 - (14) 聖学院幼稚園同窓会
 - (15) 聖学院大学附属みどり幼稚園保護者の会
 - (16) 聖学院大学附属みどり幼稚園同窓会
 - (17) 篤志家の会（現職及び退職の理事・監事・評議員・教職員及び上記以外の卒業生の父母・保証人を含む。）

ASF(オール聖学院フェロースhip)募 金

聖学院の教育充実のための目標額達成に向けて皆様からのご支援をお願いいたします。

2016年度募金要項

2016年度募金目標額	310,000,000円
募金プロジェクト	学校法人聖学院 教育および施設設備充実(聖学院大学大学院) 教育および施設設備充実(聖学院大学) 教育および施設設備充実(聖学院中高) 教育および施設設備充実(女子聖中高) 教育および施設設備充実(聖学院幼稚園・小学校) 教育および施設設備充実(みどり幼稚園) 奨学金(聖学院大学大学院) 奨学金(聖学院大学) 奨学金(聖学院中高) 奨学金(女子聖中高) 奨学金(聖学院幼稚園・小学校) 学校法人聖学院(セインツ) (在外教育施設のため寄付金控除の対象とはなりません) 東日本大震災救援・復興募金 (直接的な寄付を考慮しており寄付金控除の対象とはなりません)
募金の種類等	個人・法人及び各種団体(PTA、後援会、同窓会等) 個人:1口 10,000円 法人:1口 100,000円 1口以上のご協力をいただければ幸いです。1口未満でも感謝を持って受けいたします。
入会・払込方法	○寄付金の納入によってASFの会員になります。 ○同封の学校法人所定郵便振替用紙にプロジェクト、口数、金額、ご住所、お名前等の必要事項をご記入の上、お振込みください。 ○学校法人所定用紙にて振込みの場合、送金手数料は無料になります。 ○クレジットカード(VISA, MasterCard)をお持ちの方は、お申し込みから入金までご自宅等で、パソコンからインターネットによるお手続きができます。 詳しくは聖学院ホームページ(下記URL)をご参照ください。 http://www.seig.ac.jp/
その他	○入金確認後、順次、寄付金受領書(特定公益増進法人の証明書付)をお送りいたします。 ○個人のご寄付については税額控除に係る証明書を合わせてお届けします。 ○匿名でのご寄付もたまわります。
お問い合わせ	学校法人聖学院ASF事務局 〒114-8574 東京都北区中里2-9-5 TEL:03-3917-8352 FAX:03-5907-7034

なお、ASF募金へのご協力につきましては毎年継続してお願いしております。
 既にご寄付をいただいた方々には感謝申し上げます。

2015年度プロジェクト別内訳(2015年4月1日～2016年3月31日)

寄付総件数 749件 寄付金総額 311,290,611円

2015年度プロジェクト名	寄付件数 (件)	寄付金額 (円)
聖学院幼稚園・小学校建築事業	177	48,029,076
全聖学院奨学資金充実事業	48	2,159,000
施設設備充実 (聖学院大学・大学院・総合研究所)	234	58,517,617
施設設備充実 (聖学院中学校高等学校)	31	102,470,690
施設設備充実 (女子聖学院中学校高等学校)	109	93,219,944
施設設備充実 (聖学院大学附属みどり幼稚園)	32	749,083
施設設備充実 (聖学院アトランタ国際学校)	22	1,089,000
東日本大震災救援・復興募金	57	1,145,201
学校法人聖学院	39	3,911,000
合 計	749件	311,290,611円

Friends of SAINTS

プロジェクト名	寄付件数 (件)	寄付金額(ドル)
施設設備充実 (聖学院アトランタ国際学校)	42件	44,694.98ドル

インターネットでの寄付のお申し込みについて

クレジットカード(VISA, MasterCard)をお持ちの方は、お申し込みから入金までご自宅等で、パソコンおよびスマートフォンまたは携帯電話からインターネットによるお手続きができます。

詳しくは以下 URL からご参照ください。

●学校法人聖学院ホームページ

<http://www.seig.ac.jp/>



【ASF ご寄付のお申し込みはこちら】
のボタンをクリックすると、寄付申し込み
詳細ページが表示されます。

●オール聖学院フェローシップ (ASF)

寄付申し込み詳細ページ

<http://www.seig.ac.jp/asf/donation.html>



【インターネットからのお申し込み】
のボタンをクリックすると、本学が寄付の決
済を委託している株式会社エフレジの寄付
支払いサイトへ移動し、こちらでのお手続き
となります。

税制上の優遇措置について

学校法人聖学院は文部科学省から「特定公益増進法人」の認可を受けており、日本私立学校振興・共済事業団からは、本学院を指定受取人とする「受配者指定寄付金」の承認を受けております。寄付金は個人、法人ともに税制上の優遇措置を受けることができます。

○個人の場合

平成23年度の税制改正により、「税額控除」と「所得控除」のいずれか有利な制度を選択いただけるようになりました。但し、「税額控除」については平成24年3月29日以降に受領したご寄付から寄付金控除の対象となります。

	税額控除 ※新たに選択可能になったもの	所得控除
控除額	$\{(\text{寄付金額} - 2,000\text{円}) \times 40\%\}$ ※1 税率に関係なく所得税額から直接控除するため、小口のご寄付に対しても減税効果が大きくなります。	$\text{寄付金額} - 2,000\text{円}$ ※1 所得控除を行った後に税率を掛けるため、所得金額に比べ、寄付金額が大きい場合には、税額控除より減税効果が大きくなります。
申告時期	確定申告時（翌年1月1日～3月中旬）	
申告方法	本法人が発行した「寄付金受領書」および「税額控除に係る証明書」を所轄税務署に提出してください。	本法人が発行した「寄付金受領書」および「特定公益増進法人の証明書」を所轄税務署に提出してください。
還付される金額について ※おおよそのイメージです	例）給与収入600万円の方が5万円をご寄付された場合（所得控除・基礎控除のみ勘案した場合）	
	税額控除額： $(5\text{万円} - 2,000\text{円}) \times 40\% = 19,200\text{円}$ ※2 還付金額： 19,200円	所得控除額： $5\text{万円} - 2,000\text{円} = 48,000\text{円}$ 還付金額： $48,000\text{円} \times 20\% = 9,600\text{円}$ ※注 各人が適用されている所得率は収入によって5～40%の範囲で変動します。
備考	上記の還付金額はあくまでも控除の違いを掴んでいただくための簡易計算による金額です。必ず還付される金額ではありませんのでご注意ください。	

※1 … 年間総所得額の40%が限度額です ※2 … 所得税額の25%が限度額です

また、上記の控除に加えて個人住民税の寄付金税額の控除対象となる場合があります。本学院では東京都、埼玉県、更にさいたま市、上尾市にお住まいの方につきましては、条例により個人住民税の控除対象寄付金として指定を受けております。詳しくはお住まいの都道府県・区市町村へお尋ねください。

※領収書の発行について

クレジットカード決済でお申し込みいただいた場合、寄付金が法人に入金されるまでには申込日から通常約1ヶ月半ほどかかりますので、あらかじめご了承ください。また、領収書の日付は、申込日ではなく、クレジット会社から法人に入金された日付となります。そのため、11月以降のお申し込みは、領収書の発行日付が翌年になる可能性があり、その場合は、寄付金控除も翌年の対象となりますのでご注意ください。11月以降のお申し込みで、当年内での寄付金控除をご希望の場合は、郵便振替用紙によるお振込をご利用ください。

○法人の場合

本学院は、日本私立学校振興・共済事業団より「受配者指定寄付金」の承認を受けておりますので、寄付金の全額を当該年度の損金に算入することができます。必要書類はASF事務局より郵送いたします。日本私立学校振興・共済事業団への事務手続きはASF事務局で行い、手続き完了後には日本私立学校振興・共済事業団が発行する寄付金受領書をお送りいたします。

○遺贈等の場合

土地・建物などの現物による寄付についてもお受けいたしております。遺贈の場合には、みなし譲渡所得課税の免税が適用されます。詳細につきましてはあらかじめASF事務局までご相談ください。

ASF 募金「振込用紙」の書き方について

■義援プロジェクト

義援プロジェクトへの募金は、こちらの用紙をご利用ください。
※この募金は寄付金控除の対象とはなりません。

02 東京		払込取扱票		通常払込料金 加入者負担	
口座番号(右詰めにご記入ください)		金額		千 百 十 万 千 百 十 円	
0 0 1 1 0 = 1		5 8 0 2 6			
学校法人 聖学院ASF募金口		料金		特 殊 取 扱	
義援金プロジェクト		東日本大震災救援・復興募金			
住所(〒)		(注1)			
フリガナ氏名		(注3)		受付局日附印	
裏面の注意事項をお読み下さい。		(私製承認第10096号)			

払込票		ご 案 内	
口座番号		1. この用紙でご送金の場合、送金手数料はかかりません。	
0 0 1 1 0 = 1		2. 個人→① 10,000円、法人→② 100,000円をきぎでいたっていただきます。③未満でも振込をもって受付けいたします。	
右詰めにご記入ください		3. 東日本大震災救援・復興募金については別添の附録の用紙とはなりません。	
5 8 0 2 6			
学校法人 聖学院ASF募金口			
金額			
千 百 十 万 千 百 十 円			
払込人			
住所(〒)			
フリガナ氏名			
料金		受付局日附印	
特 殊 取 扱		円	

■募金プロジェクト

下記プロジェクトへの募金は、こちらの用紙をご利用ください。

■ 学校法人聖学院

■ 教育および施設設備充実

(聖学院大学大学院・聖学院大学・聖学院中高・女子聖学院中高・聖学院幼稚園・小学校・聖学院大学附属みどり幼稚園・聖学院アトランタ国際学校(寄付金控除の対象とはなりません))

■ 奨学金

(聖学院大学大学院・聖学院大学・聖学院中高・女子聖学院中高・聖学院幼稚園・小学校・聖学院アトランタ国際学校(寄付金控除の対象とはなりません))

02 東京		払込取扱票		通常払込料金 加入者負担	
口座番号(右詰めにご記入ください)		金額		千 百 十 万 千 百 十 円	
0 0 1 1 0 = 1		5 8 0 2 6			
学校法人 聖学院ASF募金口		料金		特 殊 取 扱	
指定学校名		(注1)		大 学 院	
(注2)					
住所(〒)		(注3)		受付局日附印	
フリガナ氏名					
裏面の注意事項をお読み下さい。		(私製承認第10096号)			

払込票		ご 案 内	
口座番号		1. この用紙でご送金の場合、送金手数料はかかりません。	
0 0 1 1 0 = 1		2. 個人→① 10,000円、法人→② 100,000円をきぎでいたっていただきます。③未満でも振込をもって受付けいたします。	
右詰めにご記入ください		3. プラジカネに付きますは、ASF NEWSの ASF 募金「振込用紙」の書き方について、そご参照ください。	
5 8 0 2 6			
学校法人 聖学院ASF募金口			
金額			
千 百 十 万 千 百 十 円			
払込人			
住所(〒)			
フリガナ氏名			
料金		受付局日附印	
特 殊 取 扱		円	

(注1)個人の募金口(口数)について

・募金は、個人「1口 10,000円」としておりますが、10,000円以下の募金でもお受けしております。その際、「口数」の記入は不要です。金額のみご記入ください。

(注2)募金プロジェクトで奨学金を指定される方は、通信欄にその旨をお書きください。

(注3)払込人欄に募金される方の住所、氏名を必ずご記入ください。

・ご記入頂いたご住所へ受領書を送付いたします。

(注4)匿名希望の方は、通信欄にその旨お書きください。

■学校法人所定用紙でお振込の場合、送金手数料は無料です。



All Seigakuin Fellowship

学校法人 聖学院

理事長・院長／阿久戸 光晴 副院長／山口 博
〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2 Tel 03-3917-8351
ホームページ <http://www.seig.ac.jp> E-mail pr@seig.ac.jp

■さいたま上尾キャンパス

聖学院大学大学院

政治政策学研究所／アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所／人間福祉学研究所
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1 番 1 号 Tel 048-780-1801

聖学院大学

政治経済学部／政治経済学科 コミュニティ政策学科※
人文学部／欧米文化学科 日本文化学科
人間福祉学部／児童学科 こども心理学科 人間福祉学科
学長／清水 正之
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1 番 1 号 Tel 048-781-0925
※ 2014 年度よりコミュニティ政策学科は政治経済学科と一体化して再編しました

聖学院大学総合研究所

所長／高橋 義文
〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1 番 1 号 聖学院大学内 Tel 048-725-5524

聖学院大学附属みどり幼稚園

園長／山川 秀人
〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷 820 Tel 048-622-3864

■駒込キャンパス

聖学院 中学校 高等学校

校長／戸邊 治朗
〒114-8502 東京都北区中里 3-12-1 Tel 03-3917-1121

女子聖学院 中学校 高等学校

校長／山口 博
〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2 Tel 03-3917-2277

聖学院小学校

校長／村山 順吉
〒114-8574 東京都北区中里 3-13-1 Tel 03-3917-1555

聖学院幼稚園

園長／佐藤 慎
〒114-8574 東京都北区中里 3-13-2 Tel 03-3917-2725

■米国アトランタ

聖学院アトランタ国際学校

校長／エイハーン みな子
5505 Winters Chapel Road, Atlanta, GA 30360 USA
Tel 1-770-730-0045